

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和5年8月2日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>SPコミックス モヤつきが止まらない彼女 とハマった本当の話</p> <p>令和5年7月19日発行</p>	<p>12話のオムニバス。物語はほぼ妄想のようなもの。各話16Pの中で8Pは性行為、性交が描かれている。性器描写は、白抜きで一定の配慮を感じ、人格否定のようなタイトルもエピソードもない。絵柄も各話セリフ内容もいわゆる昭和時代を思わせるもので、子供たちが間違えて手に取ることはないおじさん向けの本。とはいえ、性行為や性交シーンのアングルや分量について、一冊の本とする時にはもう少し配慮が必要。総合的に判断して、成人向け。指定該当。</p> <p>擬音、体液描写、人格否定は見受けられない。全話当事者同士の同意がなされている。一話完結なので必然的に性行為シーンが多い。読者年齢が高そうなイメージがある作品で18歳未満の青少年が手に取るのか疑問はあるが、性描写の分量も踏まえ、区分陳列は必要。指定該当やむなし。</p> <p>男女恋愛のアンソロジーコミック。相思相愛男女のシュチュエーション恋愛物語で、嫌悪感はない。性器の消しも修整されているが、性行為の登場回数と「フィッティングルーム」「日焼けマシン」「公衆トイレ」での性行為を増長する懸念がある。統合的に判断して青年レベルを超えている。指定該当やむなし。</p> <p>性器の修整はされてるものの、性描写が多く、指定該当やむなし。</p> <p>12話の短編作品。全体的に性交シーンが多く、性器は白抜きになっているが、擬音、体液、大腿部の描写も多い。花見の席での場面や暴力的ではないにしろ手錠、ロープの使用などがあり、帯にも淑女が奏でる㊦日常とある。ストーリーも描き方も青少年を超えている。指定該当。</p> <p>性器修整はされており、擬音・体液描写もそこまで多くない。全12話のオムニバス形式のため、性行為のシーンも多いが、着衣のコマも多く、そこまで分量として多いとは感じない。絵に色気はあるが、卑わいではない。一部の話に集団での性行為や強引に始まった行為がやがて相手女性に受け入れられるとの誤解を青少年に与えかねない、人格否定的な描写がある。とはいえ、全体を通して読むとこれは荒唐無稽な妄想であることが伝わると思われ、誤解を与える可能性はほぼない。ギリギリ指定非該当。</p> <p>局部修整はしっかりしている。性的なシーンは多いが配慮されている部分も多い。一部局部アップはあるが画角等で修整されている。人格否定はなく、指定非該当。</p> <p>男女の単編集でありそれなりの性交シーンが描かれているが、描かれている角度や修整はそれなりに施されている。大開脚や擬音が多少気になるが全編大部分とは言いがたい。指定非該当。</p> <p>大人の男女の恋愛＝性愛を描く読み切り作品を集めたアンソロジー。短編の集まりだけに性描写も多めだが、擬音や体液表現も抑制されている。全体的に青年コミックの表現範疇に収まる内容と判断し、指定非該当。</p> <p>全12話を1話16ページで作っているのので後半8ページの性行為シーンがやや多く感じられる。性器の修整は白抜き、輪郭もぼかし十分配慮が伺える。拘束や人格否定の部分もあり見受けられない。指定非該当。</p> <p>局部の修整がされており人格否定など感じられない。文字が多いことからか卑わい感を覚えない。指定非該当。</p> <p>施行規則の卑わいな感じ（下品でみだらな印象）から判断すれば指定非該当。</p> <p>16Pショートストーリーによるオムニバス（全12話）。人格を否定する性的行為は見られず、暴力や残虐性を助長するような描写もない。性描写、性器の修整も一定の配慮がなされている。指定非該当。</p> <p>性器描写の修整は配慮されている。性的行為を他人に見せつける、金銭を渡し性交する等の描写は気になるが、人格否定につながるものはなく指定非該当。</p> <p>短編ではあるが、それぞれストーリーがある。暴力や人格否定の表現がなく、性器のぼかしがされている。全体的に卑わいな感じが無い。指定非該当。</p>